

# 横断歩行者の保護の実施について

県内で多発する交通死亡事故抑止ため、  
「人(歩行者)にやさしい“いばらき”」をキャッチフレーズに  
ドライバーに歩行者保護を意識付ける取組を実施しています。

## 横断歩行者を守る

# モデル横断歩道



を設置しております。

## 「モデル横断歩道」とは

平成28年中の交通死亡事故の中で「歩行中」の事故は3割を占め、そのうち「道路横断中」の事故が約7割を占めています。

ドライバーに対し、横断歩道等での「横断歩行者の優先・保護」の意識の高揚を図り、道路横断者の交通死亡事故を抑止するため、県内108か所に「モデル横断歩道」を指定し、横断者の交通死亡事故抑止に取り組んでいます。

※ モデル横断歩道には看板を設置します。

## 【笠間警察署管内の設置場所】

「モデル横断歩道」設置場所住所	付近目標物
笠間市笠間地内	県立笠間高等学校正門付近
東茨城郡城里町上青山地内	常北小学校東側T字路
笠間市平町地内	「モノタロウ」東側バス停付近
笠間市友部駅前	JR友部駅南口ロータリー付近

## 横断歩道では



## 茨城県笠間警察署



- ◎ ドライバーは、横断しようとする者がいる時は必ず停止しましょう。
- ◎ 歩行者は、ドライバーに対し「手を上げる」など横断する意思表示をして、車が完全に止まってから横断しましょう。